

CARECO 特設サイトのご案内

CARECO 特設

検索
で検索!

CSRレポートを**無料**で請求できます。請求から5日前後でお届け!
サイトのアドレスはwww.c.ecohotline.com

💡 特設サイトのポイント

➡ 過去のCSRインタビュー

積水ハウス(株)や(株)カネカのCSR責任者のインタビューが読めます。



➡ マンガでわかるCSR

CSRの基本のキをわかりやすくマンガにしています。

➡ CSRレポートのここに注目

CSRレポートの注目コンテンツにフォーカスし、ポイントを紹介しています

CSRレポートの請求や上記のコンテンツ以外にも、実際にCSRレポートを活用した大学生の声の掲載やCARECO Vol.1から4までのバックナンバーなど、就職活動に活用できるコンテンツを掲載しています。ぜひ特設サイトへもアクセスください。

CSR推進企業評価チェックシート <就活版>

- ➡ 企業のCSR推進度をチェックできるCARECOオリジナルのチェックシート(PDFファイル)が特設サイトからダウンロードできます。
- ➡ CSRレポートを使って企業研究をする際の参考になるよう、CSRに関する4つのテーマと21の課題を独自に抽出し、テーマごとに10のチェック項目を設けました。
- ➡ 特設サイトには、各チェック項目の詳しい背景情報や、CSR専門用語の解説などを掲載していますので、併せてご覧いただくと理解がさらに深まります。

※ 発送は飛脚メール便にて通常、5日前後(土日祝日を除き)でお届けいたします。
ただし、発送時期や諸事情により到着までに一週間程度がかかる場合やレポートの在庫の関係でお届けできない場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。



発行：株式会社ハートウェイ
〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4-1118 TEL 06-4797-7281 FAX 06-4797-7288
レポートの発送、エコほっとラインへのお問い合わせは 有限会社インフォワード(TEL 06-6471-8800)まで

CARECO

『キャレコ』 = 「キャリア」 + 「エコ」で就職活動をデザインする。

VOL.5

巻頭インタビュー

**企業価値を高める
ダイバーシティ推進。
CSRレポートで企業の
ホンキ度をはかる。**

大阪ガス株式会社
人事部ダイバーシティ推進チームマネージャー 田畑 真理氏

特集

**CSRレポートを使って
選ぶ力を身につける**

187 企業の
CSRレポートがスグに請求できる!

しかも
無料

企業価値を高める ダイバーシティ推進。 CSRレポートで企業の ホンキ度をはかる。



大阪ガス株式会社
人事部 ダイバーシティ推進チーム
マネジャー 田畑 真理 氏

インタビュー日：2013年9月27日

！ **ダイバーシティとは？**
「多様性」のこと。もともとはDiversity & Inclusion(多様性と受容)という経営戦略のこと。人種・民族の違い、国籍、性別、障がいの有無、さらには個々の価値観や文化的な背景などをお互いに認め合い、受け入れていくことで、新たな価値を生み出し企業の成長を図ることを目的としている。CSR(企業の社会的責任)でも重要なテーマになっている。

グローバル化による市場環境の変化に伴い、企業はいま競争を勝ち抜くための人材活用戦略「ダイバーシティ」に取り組み、多様な人材の確保を進めている。なかでも女性の活用は長年の課題で、たとえば、ジェンダー・ギャップ指数(GGI)^{※1}の2012年データでは、日本は101位とOECD(経済協力開発機構)諸国のなかで下から2番目に甘んじている。安倍政権は、2020年までに女性管理職比率30%以上を目指すとし、各企業も新たな施策を始めるなか、こうした国や企業の動向は採用活動にどのような影響を与え、就活学生は何を求められているのか。大阪ガスで3年間CSR室長をつとめ、今春から人事部に異動し、ダイバーシティ推進に携わる田畑マネジャーに話を聞いた。

※1 ダボス会議を開催する世界経済フォーラムが、135カ国を対象に各国内の男女間の格差を数値化したランキングしたもの。

優れた人材を確保しイノベーションを創出

—なぜいまダイバーシティなのでしょう。

日本では、2000年に帝人さん、2001年にパナソニックさんが女性活躍推進に取り組みはじめ、2006年ごろから他の企業にも波及していったようです。最近再びダイバーシティが盛んになっているのは、事業のグローバル化と国内の少子高齢化によるといえます。企業は優秀な人材を確保し続け、多様な個性の協働が生み出す価値、つまり、変化への柔軟な対応力やイノベーションを起こす力を養うことがこれまで以上に必要になってきたためです。特に女性活用の面で、日本は遅れています。

—大阪ガスのダイバーシティ推進について教えてください。

この4月に当チームが人事部に新設され、「女性活用はダイバーシティ推進の試金石」と位置づけ取り組んでいます。当社は、くるみんマーク^{※2}を1997年から3期連続で取得するなど法定を上回る両立支援制度が整っていますし、部長2名を筆頭にさまざまな職域で女性社員が活躍しています。しかし、まだ十分とはいえない状況なので、積極的な採用と育成支援により2020年には監督・管理の地位にある女性の比率を倍にしたいと考えています。

※2 次世代育成支援対策推進法に基づく認定マーク。従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣から認定を受けられる。

個々の成長意欲や仕事観を大切にしたい

—女性の登用が進まない理由はどこにあるのでしょうか。

まず、全体の13%と女性社員の数が少ないことです。2番目は、日本企業共通の課題でもある長時間労働です。一般に企業の人事評価は単位時間当たりの生産性ではなく、その年度中に出した成果の大きさを見ますので、長く働ける人の方が、育児や介護など時間的な制約のある人よりも有利になります。今後は、費やした時間コストにも目を向ける仕組みを考える必要があります。当社でも、効率よく働いてさらなる生産性向上を目指す「スマートワーク」を推進しています。

—働く女性側の意識も多様化しています。

この夏、若手中心の女性社員を対象にキャリアデザインの個別面談を実施しました。すると、女性を一括りにする時点でギャップが生じること、性差以上に個人差が大きいことが改めて確認できました。上司は個々の成長意欲や仕事観と丁寧に向き合い指導することが大切ですが、部下も上司の期待に応え、自分の意見を受け入れてもらえるように自己研鑽する必要があります。

自分らしいワークライフバランスのもと人間的に成長できれば理想的

—ご自身の職業観を教えてください。

大学に入る前から“経済的に自立したい”と思っていました。大阪ガスでは、研究所に初期配属され、専攻を活かせる食品・バイオ関連の業務に携わっていたと考えていましたが、商品開発部に移ってマーケティング調査やwebコンテンツに関わるうちに変わりました。モノを作るよりも、コトを起すことの面白さに目覚め、育児休業を経て出向した関係会社でその志向が強まりました。経験したことのない分野の仕事に変わっても、培ってきた知識や人脈は必ずまたどこかで活かせるので、無駄なことやまわり道などないと思っています。

—女性にとって理想の働き方とは何でしょうか。

女性だから特別扱いされてもよいのは出産前後だけだと思うくらいのバイタリティが欲しいですね。もちろん、男性だから家事や育児に関わらなくてもよいというのも

許されないと思います。「ゆるキャリア」「バリキャリア」などと決め付けしないで、ワークとライフの双方を自分らしくバランスよく満喫し、人間的に成長したという手応えを得られる職業生活が理想ではないでしょうか。当社では、男女問わず、自ら新しいキャリアを築き、やがて会社経営に携わりたいというぐらいチャレンジ精神旺盛な人を求めています。

多様な人とコミュニケーションし自分を見つめなおす

—ダイバーシティ推進は企業選びのポイントになりますか。

まず、企業選びでは先入観や世間体には振り回されたいこと。もっと柔軟に自分の直観を信じていいと思います。そのうえで、CSRレポートでは、企業のホンキ度や正直さをはかるためのポイントがいくつかあります。ダイバーシティの場合、たとえば、会社のトップがそのことに触れているか否か、法定以上の両立支援制度が整っているか、その利用実績はどうか、勤続年数等の雇用関連のデータが経年で開示されているか、など、いくつかの企業で比較してみてください。

—就活学生へのメッセージをいただけますか。

「知らない人とは話ができない」「専門外には興味がない」などの食わず嫌いは、直せるものなら直しておいた方が良いでしょう。普段付き合っていない人、知らない人との距離を縮めるには、リベラルアーツ(一般教養)を身につけて自分の引き出しを増やしておくことも大切です。“他人は自分の鏡”といわれるように、性別・年齢・立場の違うさまざまな人とのコミュニケーションから自分の良いところ・改めるべきところが沢山見つかると思います。

Profile：田畑 真理 (たばた・まり)

兵庫県生まれ。1986年、大阪ガス株式会社入社。研究所、商品開発部を経て関係会社に出向。出向中は、ベンチャー企業誘致、人材育成プロジェクト等に従事。2008年帰社。2010年からCSR室長。レポート編纂のほか、グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク等対外活動にも関与。2013年より現職。



※『大阪ガスグループ CSRレポート2013』の内容紹介と請求番号は本誌12ページに掲載しています。

CSRレポートを使って選ぶ力を

就活では最初の企業選びがもっとも大事!

これから皆さんが就活をするうえでもっとも大事なことは何だろう。自己分析?面接対策?志望動機?もちろんどれもやっておくべきことだが、もっとも大切なことは企業選びではないだろうか。何をやっている会社なのか、どのような仕事ができるのか、人材教育や研修制度は整っているのか、福利厚生や給与はどうかなど、さまざまな基準を検討して入社したい会社を絞りこんでいく。企業選びは、まさに就活の根幹部分にあたるといってもいいだろう。

ところが、リクナビなどの就活サイトを利用した採用活動が続く現状では、学生は膨大な数の企業の中から就職先を選ばなければならない。誰もが聞いたことのある名の知れた企業は競争が

激しく、最近ではブラック企業のことも気になる。そこで必要になるのが「選ぶ力」である。何をやっているのかわかりにくいですが実は世界シェアNO.1のBtoB企業、環境配慮や社会貢献に注力しながら着実に業績を伸ばす中堅企業、そして、小さくてもキラリと光る技術力で信頼を集める中小企業など、目を向けるべき企業は枚挙にいとまがない。

こうした気づきを得て自分なりのモノサシを身につけたいのであれば、会社案内やホームページなどからの表面的な情報収集だけではなく、CSRレポートや有価証券報告書(有報)を丁寧に読みこみ、「企業で働く」というイメージをしっかりと持つことがその近道となるはずだ。



身につけよう!



Step.3
自分なりのモノサシが養われ「選ぶ力」が身につく!



Step.2
「企業で働く」というイメージを具体的に持つ



Step.1
できるだけ多くのレポートや有報を読む



💡 そういう君はもっと企業選びの視野を広げよう! 世間一般では名前が知られていないが優良な企業はたくさんある!


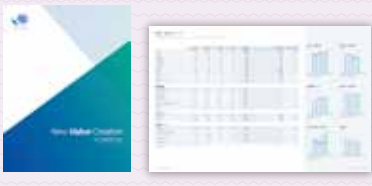

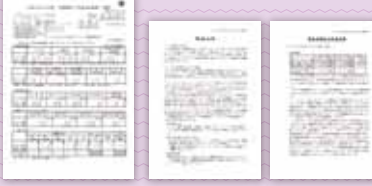
BtoB企業 **中堅・中小企業**

CSRレポートや有価証券報告書はこう使う!

企業が発行するさまざまな媒体資料のなかで、企業研究に使えるのは主に(1)CSRレポート、(2)アニュアルレポート、(3)有価証券報告書、(4)決算報告資料の4つだ。それぞれの特長は下の表にまとめたが、この特集では、CSRレポートと有価証券報告書にフォーカスし、それぞれの媒体の活用のしかたを紹介する。



企業研究に使える4媒体の特長

<p>▶ CSRレポート</p> 	<p>環境、社会、ガバナンス(企業統治)という非財務の観点から企業活動をまとめた年次報告書。大手・上場企業を中心に1,000社を超える企業が発行している。取り組みの範囲や報告書のまとめ方によって「環境報告書」や「社会・環境報告書」としている企業もある。</p>
<p>▶ アニュアルレポート</p> 	<p>主に海外の株主や投資家に向けて財務情報などをまとめた年次報告書。対象が上場企業に限られるため、発行社数はCSRレポートよりも少ない。近年はCSRの内容も含めた統合レポートを発行する企業も増えている。</p>
<p>▶ 有価証券報告書</p> 	<p>上場企業などに対して国への報告を義務付けた開示資料。定量・定性にかかわらず企業に関するあらゆる情報を網羅している。作成する書式が決まっているため、資料として比較検討しやすい利点がある。</p>
<p>▶ 決算報告資料</p> 	<p>上場企業が決算発表時に報告する財務資料で、証券取引所の自主規制に基づく「決算短信」や、会社法の規定に基づく「決算公告」がある。</p>

CSRレポートの活用方法

多くのレポートに目を通すことで共通点や相違点が見えてくる

CSRレポートは、想定読者や誌面構成などを各社が自由に決めて編集していることから、比較検討が難しい側面がある。Webですべての情報を報告し、冊子で内容を絞ったダイジェスト版を発行したり、逆にすべての情報を冊子に盛り込んだりするケースもある。ただ、多くの企業がさまざまなガイドラインやガイダンス※を参考に制作していることから、一定の比較は可能だ。特定の業種の数社だけを読むのではなく、できるだけ多くのレポートに目を通すことで、業種を問わず共通して抱える課題や解決方法に向けた取り組みの違いが見えてくるだろう。



CSRレポートで何がわかる?

① 企業の全体像と今後の方向性を把握したい

CHECKPOINT

- 経営方針はどうなっているか?
- 重点的に取り組む事業活動は何か?
- 中長期の展望をどう考えているか?



② 企業が今もっとも力を入れていることを知りたい

CHECKPOINT

- どのような課題があるか?
- なぜそれに取り組むのか?
- どうやって解決していこうとしているか?



③ 取り組みの背景や詳細なデータを見たい

CHECKPOINT

- 環境配慮や社会貢献などでどのような活動をしているか?
- なぜそれに取り組むのか?
- 目標に対する実績はどうなっているのか?



※ レポート制作のガイドラインには環境省「環境報告ガイドライン」やGRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」が、また、ガイダンスには社会的責任に関する国際規格「ISO26000」などがある。

特集

有価証券報告書(有報)の活用方法

データは過去5年ぐらいを複合的に見るようにしましょう!

有報は、どの企業も書式が決まっているため比較がしやすいのが特徴。企業研究では次の項目を見るようにしましょう。〈企業の概況〉にある①【主要な経営指標等の推移】と②【従業員の状況】、〈事業の状況〉にある③【対処すべき課題】、④【事業等のリスク】、⑤【研究開発活動】の5つの項目だ。また、データを見るときは、過去5年分ぐらいのデータに目を通して推移を見たり、複数のデータを使って新たなデータを導き出したりすることが重要になってくる。

有報で何がわかる?

CASE.1 おしゃれでリーズナブルな雑貨や家具を扱うお店を経営するA社。毎年200人を採用する就活学生に人気の企業。店舗を全国に展開しており、過去5年間の売上高は右肩上がり経営は好調のようだが・・・。

CHECK 過去5年にわたって一人当たりの売上高を調べたところ、ほぼ横ばいだった。

STUDY

【一人当たりの売上高の求め方】

- ① 有報の【主要な経営指標等の推移】を見る
- ② 売上高÷従業員数=一人当たりの売上高

A社は毎年200人の学生を採用し、お店をどんどん出店することで売上を伸ばしている。すると次のようなリスクが考えられる。

- 国内の出店が頭打ちになると増員による増収が見込めなくなり、海外展開ともなれば営業要員は外国人に取って代わられる。
- 日本人社員は海外でマネジメントに従事するか、国内に残ってリストラの対象になるかもしれない。

CASE.2 ITを使った新しいマーケティングシステムで毎年売上を伸ばすB社。従業員数が150人程度の中小企業だが、平均年間給与も他の業種よりもいいみたいだが・・・。

CHECK 売上高人件比率を見てみると58%だった。

STUDY

【売上高人件比率の求め方】

- ① 有報の【従業員の状況】を見る
- ② 従業員数×平均年間給与=人件費
- ③ 人件費÷売上高×100=売上高人件比率

B社のようなIT企業は労働集約型のビジネスモデルが多く、売上高に占める人件費の割合が重要になる。

- たとえば、売上高人件比率が50%超の企業の場合、売上高が半分になれば、真っ先にコストダウンの対象となるのが人件費である。
- 逆にメーカーなど固定資産の大きい企業であれば、その割合は数%という場合もある。

CSRレポートを請求して 企業研究を始めよう!!



次ページから掲載しているCSRレポートは、特設サイトまたは挟み込みの専用ハガキでご請求いただけます。請求後、5日前後でお手元にお届けいたします。ご利用はすべて無料ですので、気になる企業のレポートはどんどん請求して企業研究に役立ててください。

請求方法は以下の2つです。

1. 特設サイトから請求 詳しくは裏表紙をご覧ください。
<http://www.c.ecohotline.com/>
2. 専用ハガキから請求

挟み込みの専用ハガキに請求番号と必要事項を記入するだけ。切手は不要。ご請求は何社でも可能です。(ただし、1種類の冊子につき、1冊までの請求となります)

企業一覧の見方

1... 企業名 2... レポート名 3... 表紙画像 4... 内容の要約 5... 請求番号

**アンケート
キャンペーン実施中**

就活やCSRに関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から、毎月抽選でQUOカード1,000円分を5名の方にプレゼントいたします。(実施期間:2014年3月末まで)

回答方法はCSRレポートご請求時の専用ハガキ、または特設サイトのアンケート記入欄からご回答いただけます。ぜひご協力ください。(アンケート内容はP22に掲載)

※ 当選は発送をもってかえさせていただきます。

先輩からのアドバイス

CSR就活体験談

楊帆(ヨウホ)さん
同志社大学 理工学部

CSRレポートでは、企業の人材育成に対する考え方を見ることができ、企業選びに役立ちました。CSRレポートを通じて、企業のビジョン、目標など未来の方向性だけでなく、企業の社会的責任を理解した上で作った志望動機は良い評価をいただきました。ただ、企業研究が足りなかったせいか、面接ではその志望動機が少し曖昧だとも言われました。皆さんも就活で後悔しないようしっかりと企業研究してください。

企業一覧

掲載している企業の報告書は特設サイトにて無料でご請求いただけます。

ご請求後、約5日程度でお手元にお届けします。

- ※ 掲載情報は2013年10月1日現在のエコほっとライン上での請求可能企業です。アクセス時に在庫冊数の関係で請求ができない場合や発行年度が変更になっている場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ 送付の際に必要な個人情報はエコほっとラインの個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。



熊谷組 「熊谷組グループ CSR報告書2013」



「信頼」、「誠実」、「社員力」の切り口でCSR活動を紹介します。お客様、地域社会との信頼を築くコミュニケーション、誠実なもののづくりのために心がけていること、社員力の充実のために行っていることを紹介。特集として「運転再開を待ちわびる人々の熱い期待を背にひたすら難工事に挑む」と題し、三陸鉄道南リアス線の震災復旧工事での職員の気概を紹介。「ものづくりの現場から」では、現場を率いる作業所長の1日の仕事を通じて、より良いものづくりのための方策を探り続ける所長の現場哲学を紹介。また、2013年4月に策定した中期経営計画（平成25～27年度）についても紹介しています。

この冊子の請求番号 001

竹中工務店 「竹中サステナビリティレポート2013」



「竹中サステナビリティレポート」は、サステナブル社会の構築への貢献を4つの想い「美しい地球を未来の子どもたちに遺す」「地域社会の持続的発展に寄与する」「お客様の信頼を得つづける」「互いに尊重しあい成長しつづける」を軸に、その実現に向けた16の取り組みとそれらを支えるマネジメントの活動を幅広く取り上げ、写真とデータでわかりやすく報告しています。特集では、被災地復興に向けた子どもたちへの教育プログラムと安全・安心への取り組みや、スマートコミュニティの実現に向けた当社の取り組みについて紹介しています。また今回、国内・海外グループ会社における活動をビジュアルにレポートしています。

この冊子の請求番号 002

戸田建設 「戸田建設コーポレートレポート2013」



戸田建設は、CSR(企業の社会的責任)に対する考え方や方針、取り組みをより多くのステークホルダーの皆さまにご理解いただくとともに、CSR活動のさらなる充実を図ることを目的に活動報告を行っています。2013年からは、CSR報告と財務報告を統合した統合レポートとして発行し、ステークホルダーの皆さまに分かりやすい構成に配慮しています。また、CSR活動に関する詳細な情報は弊社ウェブサイトにて公開し、さらにその内容を「CSRレポート(PDF)」としてまとめています。

この冊子の請求番号 003

日本ハム 「社会・環境レポート2013」



本レポートは、日本ハムグループの社会に対する責任(CSR)としての、環境・社会への取り組みを中心とし、商品の品質保証やコーポレートガバナンスへの取り組みなどを掲載しています。今回は、当社グループが企業理念に掲げる「『食べる喜び』を基本のテーマとして、時代を画する文化を創造し、社会に貢献する」に立ち返り、「食物アレルギーの取り組み」や「環境への取り組み」に関する記事を集めました。そして、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション向上を目的にユニバーサルデザインやSPコードの採用と文字サイズ、写真・イラストなどにも配慮しています。

この冊子の請求番号 004

不二製油 「CSRレポート2013」



当社では「CSRは経営そのもの」という考えの下、CSR活動を推進しています。2013年度版は、特集ページでは大豆事業の新たな戦略である「大豆ルネサンス」と、CSR調達推進の一環で実施したマレーシアのパーム農園視察結果をクローズアップ紹介しています。活動報告ページでは、CSR活動計画に対する取り組み状況の可視化を目指し、活動実績を中心に掲載しています。ウェブサイトではそれ以外の活動報告を含む網羅的な報告としていますので、ぜひご覧ください。

この冊子の請求番号 005

プリマハム 「社会環境報告書2013」



本年度の報告書では、当社の事業と社会的責任のかかわりや取り組みの現況について報告しています。特集では当社のメインブランドである「香薫あらびきポークウインナー」を通じて、健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化に貢献していくという当社の姿勢を具体的にお伝えしています。また、昨年度のアンケートにお寄せいただいたご意見を踏まえ、全体を通じて事業活動と社会・環境課題との関係や当社の姿勢が分かりやすくなるよう、例えば品質管理にかかわるページをQ&A方式で掲載するなど工夫しました。

この冊子の請求番号 006

コニシ 「Konishi Report2013 環境・社会報告書」



当社は化学物質を取り扱う事業を営んでいるため、早くから環境保全、製品安全、保安防災に力を注いできました。接着剤は暮らしに関わる幅広い箇所で使用されており、目には見えませんが接着剤の機能はさまざまな形で社会や環境保全に役立っています。近年、道路、トンネル、橋梁やビル、マンション等のコンクリート構造物の補修・補強、改修が日本全体の喫緊の課題となっています。本年は特集として、マンション・ビルのメンテナンスを支える当社の活動についてご紹介しました。本報告書を通して、皆さまがより安全・安心に暮らせる社会づくりにコニシグループの技術が貢献していることをご理解いただき、身近に感じていただければ幸いです。

この冊子の請求番号 007

東京応化工業 「CSR Report 2013」



本レポートは、東京応化グループの社会に対する責任(CSR)についての考え方やおよび環境活動などをステークホルダーの皆様に関わりやすく伝えるとともに、積極的なコミュニケーションを図るためのツールとして毎年発行しています。本年度は、2013年度よりスタートした「tok中期計画2015」を特集として取り上げ、また、国際的なガイドラインである「GRI規格」に対する取り組みの一覧表も掲載しています。当社のwebサイトでは、本レポートに網羅しきれない詳細事項を公開していますので、そちらも併せてご覧くださいようお願い致します。

この冊子の請求番号 008

ポリプラスチックス 「環境・社会報告書2013」



ポリプラスチックスグループは、エンジニアリングプラスチックを製造・販売する企業として、地域・社会とのつながりを大切に、環境に配慮した経営を行っています。「環境・社会報告書2013」では、当社のCSR活動を中心に、経営理念に基づくコンプライアンスをはじめとしたマネジメント体制の強化などについてまとめています。また、本年度はより多くのステークホルダーの皆様にご覧いただけるよう、冊子の一部を日本語・英語併記にするなどの工夫を施しました。

この冊子の請求番号 009

田辺三菱製薬 「CSR Report 2013」



当社CSRレポートは、患者さん、医療関係者、株主・投資家、地域社会、従業員など、幅広いステークホルダーを対象に、当社グループが2012年度に実施したおもなCSR活動についてお知らせするものです。今回のレポートより、当社の企業理念に基づいた具体的な取り組みについて、ISO26000の中核課題に沿って紹介しています。また、第三者意見として、関西学院大学商学部教授の阪智香先生より、このレポート全体をお読みいただいたうえで、外部有識者の視点から当社のCSR活動に対する貴重なご意見を頂戴しました。なお、文章中における医療・薬学関連の専門用語については、巻末に用語解説を設けることにより、広くご理解いただけるよう工夫しています。

この冊子の請求番号 010

田辺三菱製薬 「アニュアルレポート2013」



田辺三菱製薬は、医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献することを企業理念としています。2013年度版では投資家をはじめとした多くのステークホルダーに、当社の持続的成長に向けた取り組みをご理解いただくため、財務情報と非財務情報を統合的に報告することをめざしました。この考えに基づき、当社の「価値を創造する取り組み」の中核となる「事業活動」と、「価値創造を支える取り組み」の中核となる「CSR活動」とを関連付けて、紹介しています。

この冊子の請求番号 011

三菱マテリアル

「CSR Report 2013 人と社会と地球のために」



本報告書では、特集「Our Focus1:震災復興への、継続的な取り組み」として、被災地のがれきり再生や、復旧・復興工事における新たな循環資材の活用、加えて国の除染ロードマップに従い実施している放射線モニタリングや建物調査等に関する取り組みなどをご紹介します。また、特集「Our Focus2:第4回ステークホルダーミーティング」では、「震災復興に向け、三菱マテリアルグループが果たすべき役割とは」をテーマに、お二人の有識者を招いて実施した意見交換の概要を、今後の日本における社会資本整備のあり方を含めご紹介しています。

この冊子の請求番号 012

YKKグループ

「YKKグループ 社会・環境報告書2013」



YKKグループの社会・環境報告書は、幅広いたくさんの方々にこの報告書を通じて弊社の取り組みを知っていただきたいという思いから、基本的な考え方を記載した「冊子版」と、詳細な数値情報などを併せて「Webサイト」で開示しています。今回の報告書は、本業を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に向けた取り組みを、分かりやすく、ご理解いただけるよう「社会とともに歩む、YKKグループのものづくり」をメインテーマとしています。また、表紙テーマは「子どもたちが自然の中で笑顔で遊べる未来」として、自然との共生を目指す「未来のエコシティ」を背景にしました。

この冊子の請求番号 013

クボタ

「KUBOTA REPORT 2013-事業・CSR報告書」



「KUBOTA REPORT-事業・CSR報告書」では、事業活動を通じてグローバルな課題にチャレンジするクボタグループの代表的な取り組みを中心に、ステークホルダーの皆様に分かりやすくご報告する総合レポートとして構成しています（日本語・英語・中国語の3ヶ国語に対応）。2013年版は、写真を多用し、事業・製品に関する内容を増加させるなど、クボタグループの全体像をよりご理解いただきやすくなるように制作・編集致しました。また、ウェブサイトでは、冊子紙面の都合上掲載できなかった詳細データ、更新情報について充実した情報開示となるように制作・編集しています。

この冊子の請求番号 014

タクマ

「会社案内 CSR報告書2013」



暮らしをささえ、環境をささえる — わたしたちタクマは、「技術を大切に 人を大切に 地球を大切に」という社是のもと、燃焼技術をコアとして、人々の暮らしと地球環境を見つめながら、ごみ処理技術や水処理技術などさまざまな技術を生み出してきました。地球規模の課題である温暖化対策などの環境問題の解決のために、また循環型社会の実現のために、「環境」と「エネルギー」の分野で新たな価値を提供することが、タクマの願いです。お客様は官公庁が主ですが、皆さまの家庭ゴミを焼却しているプラントとしては日本一の実績があります。本書を通して、当社が身近な存在としてご理解いただければ幸いです。

この冊子の請求番号 015

ミネベア

「ミネベアグループ CSRレポート2013」



CSRレポートの発行として4年目となる本年度は、特集として事業活動を行う周辺地域とのコミュニケーション事例として、軽井沢工場における地域の皆様とのダイアログの様子と、アメリカにおける地域に根ざしたCSR活動を取り上げています。また、東日本大震災孤児育英基金の設立と株式会社日本政策投資銀行の環境格付で最高ランクを取得したことを注目話題として報告しています。「マネジメント報告」では、2012年度のCSR目標に対する取り組みの進捗結果に基づき2013年度のCSR目標を新たに策定し報告しています。

この冊子の請求番号 016

東京エレクトロン

「環境・社会報告書2013」



本報告書では、東京エレクトロングループの創立50周年を迎えるにあたり、新たに制定した基本理念と改定した経営理念、そして明文化したCSR方針に基づく具体的な活動状況を報告しています。今年度は、環境負荷を積極的に軽減しながら、さらなるグローバル展開と技術革新を推進する当社グループの戦略的な取り組みを多面的に理解していただくことを目的として構成しています。2014年3月までに報告書に同封しましたアンケートにお答えいただいた方にもれなくエコバックを贈呈しています。

この冊子の請求番号 017

堀場製作所

「Gaiareport2013」

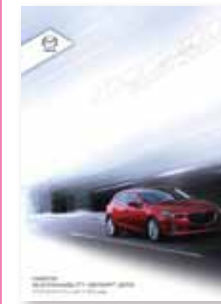


5つの事業部門(自動車・分析・医用・半導体・科学)で展開しているHORIBAの製品・サービスは「環境・健康・安全・エネルギー」と深く関係しています。事業の本流から外れない企業活動が当社グループのCSR活動そのものであり、社会貢献につながると考えています。CSR報告書「Gaiareport(ガイアレポート)」は、HORIBAのCSR活動のエッセンスを凝縮した冊子版と、詳細データやトピックスを掲載したWEB版の2部構成で、HORIBAのCSRに対する考えや活動の報告をしています。

この冊子の請求番号 018

マツダ

「サステナビリティレポート2013 ダイジェスト版」



冊子として発行するマツダサステナビリティレポート ダイジェスト版について、2013年度は会社案内と統合しました。それぞれの読者の方々のニーズを満たすことを目指して、マツダの概要や基本となる考え方に加え、2012年度の特徴的な取り組みを紹介しています。マツダサステナビリティレポートの詳細版(全158ページ)は別途マツダオフィシャルウェブサイトに掲載しています。

この冊子の請求番号 019

セイコーインスツル

「社会・環境報告書2013」



SIIグループ「社会・環境報告書2013」は、SIIのCSR活動について「SII企業行動憲章」を軸に報告しています。SII企業行動憲章の【価値の提供】、【公正・誠実な企業活動】、【人間尊重と人材育成】、【社会との共存】、【環境との調和】で構成し、CSRの考え方や取り組み状況、また、各項目ごとに事例などを盛り込みながら、わかり易くお伝えすることを心掛けました。【環境との調和】では「グリーンプロダクツの進化」と題し、SIIの環境配慮型製品の考え方の広がりや、対象製品範囲の拡大、実際の製品事例などをご紹介しています。

この冊子の請求番号 020

大阪ガス

「大阪ガスグループ CSRレポート2013」



東日本大震災後の防災意識の高まりを踏まえて、特集記事で「お客さまのエネルギーセキュリティ向上のために、天然ガスの分散型エネルギーシステムにできること」というテーマをとりあげています。(1)工場、(2)店舗、(3)戸建住宅、(4)集合住宅の4つのカテゴリごとに、実例を示しながら大阪ガスからの提案を紹介しています。その他の項目では「大阪ガスグループCSR憲章」の章立てに沿って活動を報告しています。また、都市ガスに関する防災・保安や、ガス機器を利用した節電についてわかりやすくまとめた小冊子も作成しています。なお、ウェブサイトにて詳細情報を紹介していますので、こちらも是非ご覧ください。

この冊子の請求番号 021

東京ガス

「CSR・会社案内2013」



特集記事として、「明日を見すえた取り組み」の中で、「2020ビジョン」実現に向けた進捗のうち、ステークホルダーの皆さまの関心事である(1)LNGの安定的な調達(2)インフラの整備・拡充(3)スマエネの推進について紹介しています。また、CSR3つの重点活動(エネルギーセキュリティの向上、環境への貢献、地域社会への貢献)について、テーマごとに社員が登場し、本業を通じた日々のCSRの取り組みを紹介しています。

この冊子の請求番号 022

東京ガス

「東京ガスの環境活動2013」



東日本大震災をきっかけとして、我が国のエネルギー供給のあり方が問い直されています。その中で、その環境優位性、供給安定性などから重要なエネルギーと目されるのが天然ガスです。当社グループは、そうした天然ガスを原料とする都市ガスのより一層の普及・高度利用を進め、次世代エネルギーへの扉を開いてまいります。今年度の報告書では、天然ガスの環境優位性から始まり、次世代への取り組みにいたるまで取り組みの最前線を解説いたしました。本冊子を通して、都市ガスの描く未来をぜひ感じ取っていただければ幸いです。

この冊子の請求番号 023

NTTドコモグループ
[NTTドコモグループ CSRダイジェスト2013]



NTTドコモグループのCSRに関する主な取り組みを抜粋し、ダイジェスト版冊子として作成しました。特集を「ドコモの『夢』と『使命』」として、ウェルネスサポートや、通信品質向上の取り組みを紹介しています。またCSRの取り組みをISO26000の7つの中核主題に基づいて分類し掲載しています。WEBサイトへは、冊子に掲載された取り組みのさらに詳細な内容と、環境会計などの詳細なデータを掲載していますので、ぜひご覧ください。

この冊子の請求番号 024

NTTドコモグループ
[NTTドコモグループ アニュアルレポート2013]



NTTドコモは、1992年の営業開始以来、携帯電話サービスの可能性を広げ、進化を牽引し続けるトップランナーです。スマートフォンの登場により、産業構造が大きく変化しているモバイル通信業界において、NTTドコモは「スマートライフのパートナー」としてお客様のニーズに応えるサービスを提供すべく、競争力の強化と新領域事業の開拓を進めています。本レポートでは、最大の変革期にあるドコモの挑戦と、その先に見据える成長にむけた決意をお伝えします。

この冊子の請求番号 025

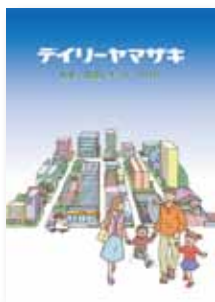
コベルコシステム
[CSRレポート2013]



コベルコシステムでは、CSR活動を経営を支える大切な取り組みとして位置づけています。CSR活動の実践と継続こそが、社会からの信頼をいただく道筋と考えています。2010年の初版のCSRレポートでは、従来から個別に行われていた社会的責任を果たすための活動をCSRとして体系化し、2009年までの取り組みを紹介しました。また、2011年版では、コベルコシステムのCSR活動の取り組みについて、ステークホルダーの皆様により詳しく報告することを目指し、マテリアリティ(大切に想う気持ち)を軸に報告しました。2013年版でも、引き続きこの考え方を踏襲し、2012年の取り組みを中心に報告しています。

この冊子の請求番号 026

山崎製パン デイリーヤマザキ事業統括本部
[デイリーヤマザキ 社会・環境レポート2013]



デイリーヤマザキは唯一のメーカー系のコンビニエンスストアチェーンとしてヤマザキグループの総合力を結集してお客様に価値ある商品とサービスを提供しています。「社会・環境レポート2013」ではグループ企業各社による「パン」「弁当・おむすび」「調理パン」「パスタ・調理麺」「スイーツ」「デイリーホット」それぞれの商品開発について、また食の安全・安心への取り組みや地域社会に根ざした店舗活動などについてご紹介しています。地域の社会インフラとしてコンビニエンスストアの役割がますます大きくなる中、デイリーヤマザキは社会の負託に応え、地域の皆様に信頼される店づくりを目指してまいります。

この冊子の請求番号 027

T&D保険グループ
[CSRレポート2013]



T&D保険グループは、持株会社であるT&Dホールディングスのもと、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命を中心に、生命保険事業等を通して皆さまの暮らしとビジネスをサポートしている保険グループです。グループ各社のCSR活動について、今年度、特にお知らせしたいテーマやトピカルなテーマについてフォーカスし、図表や写真を活用し分かりやすくご報告する「フォーカス編」とGRIガイドラインに則りCSR情報を網羅的にご報告する「データ編」の2種類の冊子を作成しています。あわせてご覧ください。

この冊子の請求番号 028

ベネッセホールディングス
[Benesse ONE Report 2013 統合報告書]



当社は、今年度より統合報告書の発行を開始しました。本冊子は、これまでの事業戦略や財務情報を中心とした「アニュアルレポート」とCSRの取り組みを中心とした「CSR&サステナビリティ報告書」を統合し、一冊の報告書にしたものです。ステークホルダーの皆さまに当社の歴史、経営課題、将来に向けた戦略等、企業価値創造の全体像を一冊で理解していただける唯一のレポートとして、「Benesse ONE Report」と名付けました。当社の経営や事業内容をより一層ご理解いただくために、動画コンテンツ等を掲載しているオンライン版「Benesse ONE Report」やその他のコミュニケーションツールもぜひ活用ください。

この冊子の請求番号 029

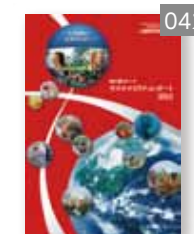
水産・農林・鉱業



奥村組 [奥村組CSRレポート2013]



千代田化工建設 [千代田化工建設グループCSR報告書2013]



味の素 [味の素グループサステナビリティレポート2012]



サントリーホールディングス [サントリーグループCSRレポート2013]



極洋グループ [極洋グループ社会・環境報告書2013]



コムシスホールディングス [COMSYS Group CSR REPORT 2012]



前田建設工業 [CSR報告書2013]



キッコーマン [社会・環境報告書2013]



シマダヤ [シマダヤグループ社会・環境報告書2013]



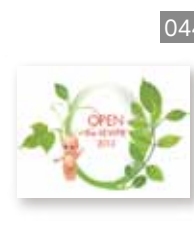
国際石油開発帝石 [Sustainability Report 2013]



三機工業 [SANKI REPORT 2013]



三井住友建設 [CSRレポート2013]



キューピー [社会・環境報告書2013 ハイライト]



宝酒造 [緑字企業報告書2013]



マルハニチログループ [CSR報告書2013]



積水ハウス [Sustainability Report 2013]



食品



コカ・コーラウエストグループ [コカ・コーラウエストグループCSRレポート2013]



永谷園グループ [環境・社会報告書2013]



建設業



大成建設 [TAISEI CORPORATE REPORT 2013]



アサヒグループホールディングス [アサヒグループCSRコミュニケーションレポート2013]



サッポロホールディングス [サッポログループCSRレポート2013]



ニチレイ [ニチレイグループCSRレポート2013ダイジェスト版]

食料品



日本たばこ産業
[CSRレポート2013]



グンゼ
[グンゼグループCSR報告書2013]



イムラ封筒
[環境報告書 2013]



アイカ工業
[アイカグループ社会環境報告書2013]



サカタインクス
[社会・環境報告書2013]



積水化学工業
[CSRレポート2013]



日本化薬グループ
[日本化薬グループのCSRレポート2013ダイジェスト]



ユニ・チャーム
[ユニ・チャームグループCSR報告書2013]



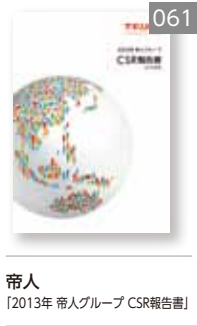
ツムラ
[CSRレポートツムラ環境・社会活動報告書2012]



日清オイリオグループ
[CSR報告書2013]



日本たばこ産業
[CSRコミュニケーションブック2013]



帝人
[2013年 帝人グループ CSR報告書]



王子ホールディングス
[王子グループ 企業行動報告書2012]



旭化成
[CSRレポート2013]



サラヤ
[環境レポート2012]



第一工業製薬
[環境・社会活動報告書2013]



バイエル
[バイエル 持続可能な発展報告書2012(英語版)]

医薬品



日本新薬
[日本新薬 レポート2013]



日清食品ホールディングス
[日清食品グループ CSR報告書2013]



ハウス食品
[私たちのCSR 2012]



東洋紡
[東洋紡グループ CSR報告書2013]



日本製紙グループ本社
[CSR報告書2012]



ADEKA
[ADEKAグループ CSRレポート2013]



三洋化成工業
[三洋化成CSRレポート2013]



東洋インキグループ
[社会・環境活動報告書 2013]



藤倉化成
[安全・環境報告書2013]



アステラス製薬
[アニュアルレポート 2013]



日本製薬工業協会
[環境報告書2012]



日清製粉グループ本社
[社会・環境レポート2013 心がける未来]

繊維製品



東レグループ
[東レグループCSRレポート 2013]



レンゴー
[環境・社会報告書2013]



宇部興産
[UBEグループ CSR報告書2013]



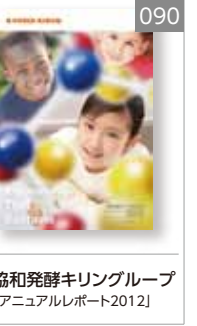
JSR
[JSRグループ CSR Report 2013]



トクヤマ
[CSR報告書・会社案内2013]



マンダム
[レポート2013 マンダムの社会・環境活動について]



協和発酵キリングループ
[アニュアルレポート2012]



パクスター
[パクスターのサステナビリティ 2011年報告書]



日本コカ・コーラ
[サステナビリティレポート2013]



クラレ
[CSRレポート2013]

パルプ・紙

化学



カネカ
[CSRレポート2013]



昭和電工
[CSRレポート2013 ダイジェスト]



日油
[環境報告書2013 レスポシブル・ケア活動報告書]



三井化学
[三井化学グループ CSR Communication 2013]



第一三共
[バリューレポート2013]



ファイザー
[ファイザー企業市民レポート2012]

食料品 / 繊維製品 / パルプ・紙 / 化学

化学 / 医薬品

石油・石炭製品



朝日ラバー
[環境・社会活動報告書2013]



太平洋セメント
[CSRレポート2013]



日立金属
[日立金属グループ 2013 CSR報告書 ダイジェスト]



機械



三菱重工業
[CSRレポート2013 ダイジェスト]



JVCケンウッド
[JVCケンウッドグループ CSR報告書2013]



ファーウェイ・ジャパン
[サステナビリティ・ブック 2013]



輸送用機器



シチズンホールディングス
[シチズングループ CSR報告書2013]



出光グループ
[出光レポート2012]



住友ゴム工業
[CSR報告書2013]



TOTO
[TOTOグループコーポレートレポート2013]



非鉄金属・金属製品



IHI
[CSR REPORT 2013]




電気機器



シスメックス
[あんしんレポート2013 ダイジェスト]



富士ゼロックス
[サステナビリティレポート2013]



いすゞ自動車
[Annual Report 2013 (英語版)]



セイコーホールディングス
[SEIKO コーポレートレポート 2012]



コスモ石油
[コスモ石油グループコーポレートレポート2013]



ブリヂストン
[ブリヂストングループ CSRレポート2013]



日本ガイシ
[CSRレポート2013]



アーレスティ
[環境・社会報告書2013]



ダイキン工業
[CSR報告書2013]



アズビル
[azbil report 2013]



ダイヘングループ
[ダイヘングループ CSR報告書2013]



富士通グループ
[社会・環境報告書2013]



三菱自動車工業
[社会・環境報告書2013]



ニコン
[CSR報告書2013 ダイジェスト]



昭和シェル石油
[コーポレートレポート2013]



横浜ゴム
[CSR REPORT 2013]



鉄鋼



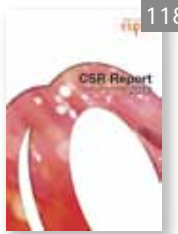
東洋製罐
[サステナビリティレポート2013]



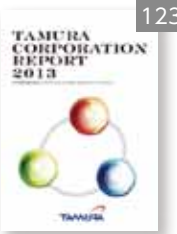
椿本チエイン
[つばきグループコーポレートレポート2013]



エスペック
[CSRレポート2013]



タムラ製作所
[TAMURA CORPORATION REPORT 2013]



ブラザーグループ
[ブラザーグループ会社案内 2013]



精密機器




その他製品



ゴム製品



ガラス・土石製品



神戸製鋼グループ
[環境・社会報告書2013]



ノーリツ
[環境社会報告書2013]



日本精工
[CSRレポート2012]



沖電気工業
[社会・環境レポート2013]



日立グループ
[サステナビリティレポート2012ダイジェスト]



ローム
[ROHM Group Innovation Report 2013]



オリンパス
[CSRレポート2013]



アシックス
[ASICS CSR Report 2013]



機械 / 電気機器 / 輸送用機器 / 精密機器 / その他製品

その他製品

141
ヤマハ
[CSRレポート2013]

145
電源開発 (J-POWER)
[J-POWERグループサステナビリティレポート2013]

149
JR東日本グループ
[CSR報告書2013]

154
西日本旅客鉄道 (JR西日本)
[JR西日本 CSR REPORT 2012]

158
日本郵船グループ
[NYKレポート2013]

情報・通信業

166
KDDI
[CSR & アニュアルレポート2013]

170
東邦ホールディングス
[CSR報告書2012]

174
ミニストップ
[ミニレポ (CSRレポート2013)]

137
イトーキ
[環境・社会報告書2013]

142
ヤマハ
[IRレポート2013 (英語版)]

146
東邦ガス
[環境・社会報告書2013]

150
東京メトロ
[社会環境報告書2012]

155
ヤマトホールディングス
[ヤマトグループ CSR報告書2013]

空運業

162
伊藤忠テクノソリューションズ
[CTCグループ CSR REPORT 2013]

167
東芝ソリューショングループ
[東芝ソリューショングループ CSRレポート2013]

171
日立ハイテクノロジーズ
[CSR報告書2013 ダイジェスト版]

銀行業

138
岡村製作所
[CSR Report 2013 持続可能な社会をめざして]

電気・ガス業

陸運業

151
東京メトロ
[安全報告書2013]

海運業

159
ANAグループ
[アニュアルレポート2013]

163
NTTグループ
[CSR報告書2013]

卸売業

小売業

175
りそなホールディングス
[りそなグループCSRレポート2013 (ハイライト編)]

139
大日本印刷
[DNPグループ CSR報告書2013]

143
関西電力
[関西電力グループレポート2013]

147
京王電鉄
[安全・社会・環境報告書2013 CSRレポート]

152
南海電気鉄道
[CSR報告書2012 ダイジェスト版]

156
飯野海運
[経営報告書2013]

160
成田国際空港
[環境報告書2012]

164
NTTデータグループ
[CSR報告書2013]

168
加藤産業
[環境・社会報告書2013]

172
イズミヤ
[イズミヤ社会・環境活動レポート2013]

証券・商品先物取引業

140
パンダイナムホールディングス
[Fun for the future! CSR活動報告2013]

144
中国電力
[2013エネルギーグループCSR報告書]

148
京阪電気鉄道
[CSR報告書2013]

153
西日本鉄道
[CSRレポート2013]

157
川崎汽船グループ
[社会・環境レポート2013]

161
日本航空 (JALグループ)
[JAL REPORT 2013]

165
NTT東日本グループ
[CSR報告書2012 ダイジェスト版]

















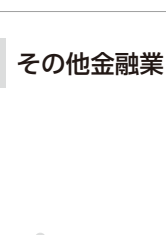


169
住友商事
[社会と環境に関するレポート2012]

173
平和堂
[平和堂CSR報告書2013]

176
SMBC日興証券
[CSR REPORT 2013]

海運業 / 空運業 / 情報・通信業 / 卸売業 / 小売業 / 銀行業 / 証券・商品先物取引業







その他製品 / 電気・ガス業 / 陸運業 / 海運業

<p>保険業</p>  <p>180</p> <p>昭和リース [環境社会報告書2013]</p>	 <p>183</p> <p>関西電気保安協会 [CSR活動レポート2013]</p>	 <p>188</p> <p>日立ソリューションズ [CSR報告書2013]</p>	 <p>192</p> <p>エア・ウォーター [環境・社会報告書2013]</p>
 <p>177</p> <p>第一生命保険 [「第一生命の絆」報告書 DSRLレポート2013]</p>	 <p>181</p> <p>芙蓉総合リース [CSR報告書2012 ハイライト版]</p>	 <p>184</p> <p>西日本高速道路 (NEXCO西日本) [NEXCO西日本グループコミュニケーションレポート2013]</p>	 <p>189</p> <p>吉野家ホールディングス [CSR報告書2013]</p>
 <p>178</p> <p>太陽生命保険 [太陽生命コミュニケーションレポート2012]</p>	<p>不動産業</p> 	 <p>185</p> <p>日本マイクロソフト [企業市民活動レポート 2012]</p>	 <p>190</p> <p>リリーフ [CSR報告書2013]</p>
 <p>179</p> <p>日本興亜損害保険 [環境レポート2012「未来に、今できること」]</p>	 <p>182</p> <p>ヒューリック [CSR REPORT 2013]</p>	 <p>186</p> <p>任天堂 [CSRレポート2013]</p>	<p>その他</p> 
<p>その他金融業</p> 	<p>サービス業</p> 	 <p>187</p> <p>日立システムズ [日立システムズグループ CSR報告書2013]</p>	 <p>191</p> <p>朝日新聞社 [読者とともに 朝日新聞社CSR報告書-会社案内2013]</p>

PDFダウンロード企業

こちらに掲載している報告書はPDFファイル形式のみでの発行となります。閲覧をご希望の方は、CARECO特設サイト、または各企業のホームページにて直接ダウンロードしてください。

※ PDFファイルのダウンロードはエコホットラインの会員登録が必要です
 ※ PDFファイルをご覧いただくには、Adobe社のAdobe Readerが必要になります。Adobe社ウェブサイトから最新のAdobe Reader(無料)をお使いのパソコンにインストールしてください。

 <p>PDF</p> <p>メロディアン [環境のあゆみ2013]</p>	 <p>PDF</p> <p>双日 [アニュアルレポート2012(2012年3月期)]</p>	 <p>PDF</p> <p>三菱商事 [サステナビリティ・レポート2010]</p>
 <p>PDF</p> <p>ファーウェイ・ジャパン [サステナビリティ・ブック 2013]</p>	 <p>PDF</p> <p>三井物産 [CSRレポート2013]</p>	 <p>PDF</p> <p>HTB 北海道テレビ [地域メディア活動報告書 ユメミル、チカラ広げようレポート2013]</p>

CARECO読者アンケート(専用ハガキ用)

Q1. 就活で企業を選ぶ際、何を重視しますか?以下のa~lの中から3つまでお選びください。
 a. 業種 b. 職種 c. 企業の規模 d. 企業の知名度 e. 給与等の条件面 f. 福利厚生
 g. 人材教育・研修制度 h. ワーク・ライフ・バランス i. 多様性の配慮 j. 親・友人・知人の推薦
 k. やりがい l. その他

Q2. これまでにCSRレポートを読んだことはありましたか?以下のa~cのうち1つお選びください。
 a. 読んだことがある b. 読んだことはないが、レポートのことは知っていた
 c. 読んだこともないし、レポートそのものも知らなかった

Q3. CSRレポートを読む目的は何ですか?以下のa~eのうち1つお選びください。
 a. 企業研究に役立つと考えたから b. 業界研究に役立つと考えたから
 c. 面接対策に役立つと考えたから d. 企業の環境配慮や社会貢献活動に興味があったから e. その他

Q4. 『CARECO』の誌面で役に立った企画・記事はありましたか?各記事ごとに5段階で評価して下さい。
 4-1. 巻頭インタビュー 4-2. 特集『CSRレポートを使って選ぶ力を身につけよう!』 4-3. 企業一覧
 [選択肢] a. とても役に立った b. 少し役に立った c. 普通 d. あまり役に立たなかった
 e. まったく役に立たなかった

Q5. 『CARECO』で今後読んでみたい企画・記事や要望はありますか?ありましたら自由記述欄にお書きください。

! 『CARECO』Vol.4で実施したアンケートでは、「企業を選ぶ際に重視すること」として、「やりがい」がもっとも多く、次いで「職種」「業種」の順だった。また、「CSRレポートを読んだ目的」としてもっとも多かったのが「企業研究に役立つ」だった。Vol.2~4のアンケート結果の詳細は特設サイト(www.c.ecohotline.com)に掲載しています。

保険業 / その他金融業 / 不動産業 / サービス業 / その他

PDFダウンロード企業